

# 「土地利用型営農技術の実証研究」

## 現地検討会及び室内検討会

食料生産地域再生のための先端技術展開事業「土地利用型営農技術の実証研究」の平成28年度現地検討会が平成28年7月11-12日に開催されました。今年度より従来の水稲・麦類・大豆を対象とした実証研究に加え，露地野菜に関する実証研究も本コンソーシアムに加わり，園芸作物も含めた土地利用型農業の先端技術について検討されました。

### 1 現地検討（7月11日）

土地利用型営農技術の実証研究が行われている有限会社耕谷アグリサービス（名取市下増田）周辺のほ場と，農事組合法人林ライスサービス（岩沼市押分）の巨大区画圃場および露地園芸栽培技術に関する機械・設備を見学しました。



大区画ほ場における乾田直播・大豆栽培の検討



乳苗疎植栽培の検討



広畝成形同時播種方式乾田直播栽培の検討



農業機械の作業情報モニタリングの説明



岩沼市6ha圃場での乾田直播の検討



農事組合法人 林ライスでの検討



露地野菜に関する実証研究の説明



露地野菜用の営農機械の説明

## 2 室内検討会（7月12日）

3つの大課題ごとに研究の進捗状況や今後の計画が説明され、熱心な質疑応答が行われました。

- 1) 「大区画ほ場におけるプラウ耕乾田直播等を核とした低コスト2年3作水田輪作体系の実証」
- 2) 「津波被災農地の圃場環境に対応した中型機械の汎用利用による低コスト3年4作輪作体系の実証」
- 3) 「土地利用型農業への露地野菜導入による低コスト安定生産の実証」



室内検討会の様子

